

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2024年度：2023年10月～2024年9月】



英重機工業株式会社

《目次》

1. 組織の概要	P-1
2. 対象範囲	P-1
3. 環境経営方針	P-2
4. 環境経営目標	P-3
5. 環境経営計画	P-3
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容・実施体制	P-4・5
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P-6・7
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P-8
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-8

1. 組織の概要

1. 事業所及び代表者名

英重機工業 株式会社
代表取締役 川田 英二

2. 所在地

本社・事務所 : 群馬県太田市鳥山下町485-2 NYテナントビル203号
資機材置場 (第1ヤード) : 群馬県太田市新田小金井町1561-1
資機材置場 (第2ヤード) : 群馬県太田市新田小金井町1583-1

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 川田 英二
環境管理責任者 : 総務部 市川 貴之
担当 : E A 2 1 事務局 堀井 真理子
TEL : 0276-33-9155
FAX : 0276-33-9156

4. 事業の内容

土木工事業、とび・土工工事業 [群馬県知事許可(般一4)第17032号]

5. 事業規模

活動規模	単位	2022年度	2024年度
売上高	百万円	681	685
従業員数	人	16	20
延べ床面積	m ²	5,569	5,569

2. 対象範囲

1. 対象範囲 (認証・登録範囲)

英重機工業 株式会社 全組織及び全活動

3. 環境経営方針

環境経営方針

〔基本理念〕

英重機工業株式会社は、主力である杭工事の事業活動において、環境保全および環境に配慮した施工・工法等に取組み、環境への負荷を低減・改善することで循環型社会の実現に努めます。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ継続的に取組みます。

1. 事業において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに循環型社会の実現に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力の削減・使用化石燃料の削減に努めます。
 - ②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。
 - ③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。
2. 環境活動を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
4. 環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。
5. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

2023年 4月 1日

英重機工業株式会社

代表取締役 川田 英二

4. 環境経営目標 5. 環境経営計画

環境経営目標（環境経営レポート対象期間）			環境経営計画（環境経営レポート対象期間）
項目	基準年 (実績)	2024年度 目標	実施事項
1 売り上げ 100万円当 り二酸化炭 素排出量の 削減	2022年度 (338.3kg-CO2/100万 円)	2022年度に対して2% 減	①空調温度適正化・表示
			②照明・P C電源不要時のO F Fの推進
			③エアコン清掃の実施
			④エコドライブ推進
			⑤社用車の点検・整備
			⑥電力、ガソリン量の集計
2 売り上げ 100万円当 り廃棄物排 出量の削減	2022年度 (1.15kg/100万円)	2022年度に対して2% 減	①分別ルールの徹底
			②廃棄物置場の整備
			③廃棄物排出量の集計
			④裏紙使用ルールの徹底
3 従業員1人 当り水使用 量の削減	2022年度 (6.69m ³ /人)	2022年度に対して2% 減	①毎月のメータを確認する（漏水防止）
			②節水表示
			③増量ノズルへの交換
			④トイレの節水
4 化学物質取 扱及び管理 の徹底	—	現状把握	①取扱商品（化学物質含有）の調査
			②購入量の把握
			③S D Sの入手
			④取扱商品一覧表の作成
5 本業に関す る目標	① 環境負荷の少ない工法の提案および採用		
	② 再生材料の活用		
	③ 資機材置場近隣への配慮		

* 購入電力の排出係数は、0.435kg-CO2/kWh【東京電力エナジーパートナー（株）】を使用しています。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

室内温度適正化・表示



節水表示



節電表示



環境に配慮した取組等

【社用車使用ルール】

車種	ワゴンR
管理責任者	堀井 <ナンバー：群馬583 い 1191>

- エコ10ドライブを実践する
 - ① 不要なアイドリングはやめましょう
 - ② タイヤの空気圧をチェックしましょう
 - ③ 不用品を降ろしましょう
 - ④ 機械運転は適切に
 - ⑤ 急発進、急加速はやめましょう
 - ⑥ 車間距離は余裕をもって
 - ⑦ エンジンブレーキを積極的に使いましょう
 - ⑧ 駐車場所はよく考えて（他車への迷惑、洗淨をおこさないように）
 - ⑨ 夏のカーエアコンの設定は控えめに
 - ⑩ 計画的に運転をしましょう
- 月末に月の累積距離を集計担当者に報告する
- 車に異常があった場合は、速やかに社長に打上げ対処する
- 定期検査は確実に受ける
- 事故が発生した場合の処置は速やかに
 - ① 負傷者の救済措置
 - ② 状況確認

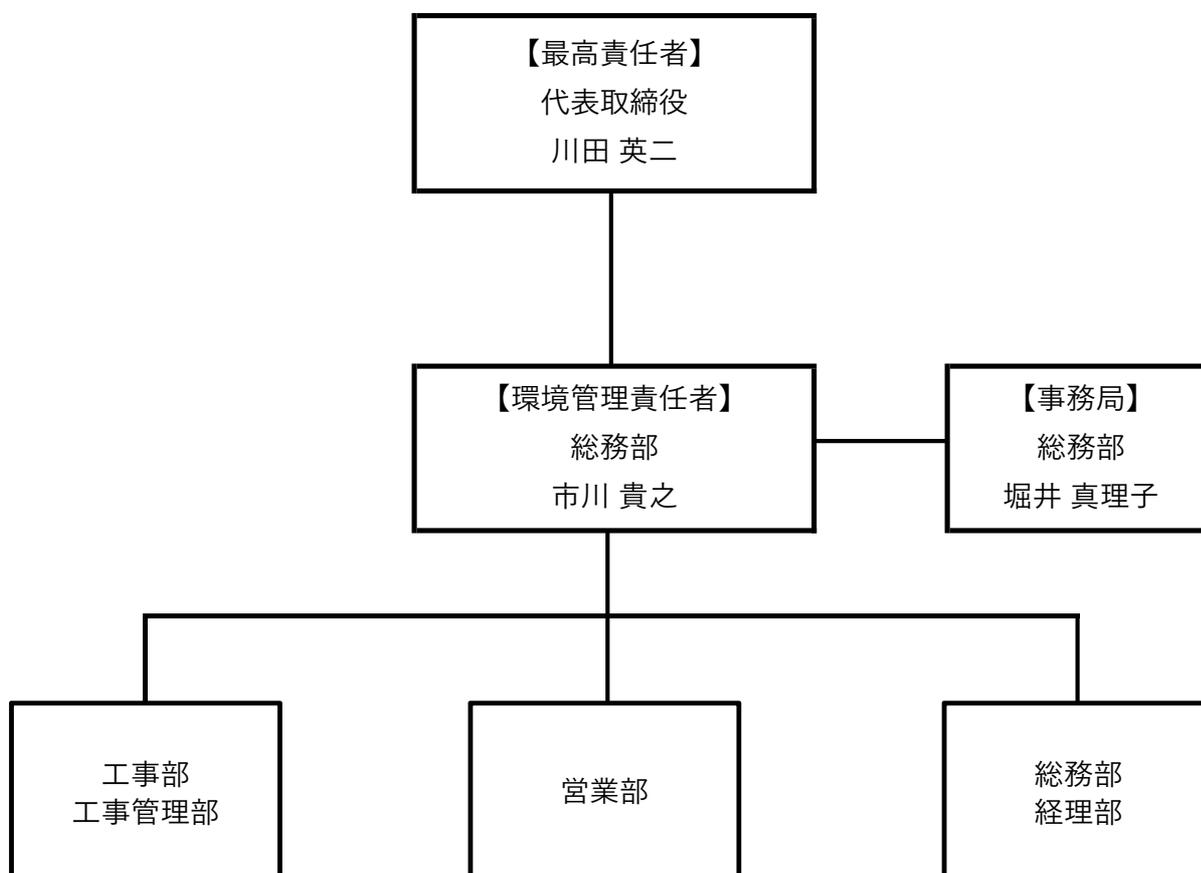
	警察	TEL 110
(警察・救急車への連絡)	救急車	TEL 119
 - ③ 会社への連絡

	TEL 0276-33-9155
--	------------------
 - ④ 保険会社への連絡

事故受付センター	TEL 0120-258-365
取組店：新アミック 保険部	TEL 0270-77-1010
数番：新アミック 保険部	TEL 0270-77-1010

作成日：2023/4/28

エコアクション21取組の実施体制



職名	役割
最高責任者	1. 環境経営方針の策定 2. 経営資源の準備 3. 環境経営方針の策定・見直し、全従業員への周知徹底 4. 全体の評価と見直し 5. 当社における課題とチャンスを明確にする
環境管理責任者	1. エコアクション21システムの確立、実施推進、維持管理 2. 環境経営レポートの作成 3. 環境経営目標および環境経営計画の実施、取組結果の報告
事務局	1. 環境管理責任者のサポート 2. 環境関連文書・記録の管理

7. - 1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標（環境経営レポート対象期間）						環境経営計画（環境経営レポート対象期間）	
項目	2022年 （実績）	2024年度 目標	2024年度 目標値	2024年度 実績	目標の達 成状況	実施事項	評価
1 売り上げ 100万円当 り二酸化 炭素排出 量の削減	338.30 kg- CO2/10 0万円	2022年 度に対 して2% 減	331.53 kg- CO2/10 0万円	236.28 kg- CO2/10 0万円	達成	①空調温度適正化・表示	○
						②照明・PC電源不要時のOFFの推進	○
						③エアコン清掃の実施	○
						④エコドライブ推進	○
						⑤社用車の点検・整備	○
						⑥電力、ガソリン量の集計	○
2 売り上げ 100万円当 り廃棄物 排出量の 削減	1.15kg /100万 円	2022年 度に対 して2% 減	1.13kg /100万 円	0.44kg /100万 円	達成	①分別ルールの徹底	○
						②廃棄物置場の整備	○
						③廃棄物排出量の集計	○
						④裏紙使用ルールの徹底	○
3 従業員1人 当り水使 用量の削 減	6.69m ³ / 人	2022年 度に対 して2% 減	6.56m ³ / 人	4.95m ³ / 人	達成	①毎月のメータを確認する（漏水防止）	○
						②節水表示	○
						③増量ノズルへの交換	×
						④トイレの節水	×
4 化学物質 取扱及び 管理の徹 底	—	現状 把握	取組 継続	現状 把握 が 出来た	達成	①取扱商品（化学物質含有）の調査	○
						②購入量の把握	—
						③SDSの入手	—
						④取扱商品一覧表の作成	—
5 本業に関 する目標	① 環境負荷の少ない工法の提案および採用					○	
	② 再生材料の活用					○	
	③ 資機材置場近隣への配慮					○	

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

※主な環境負荷実績

環境負荷	2022年度 （基準年）	2024年度 （環境経営レポート対象期間）
①二酸化炭素排出量（kg-CO ₂ ）	230,384.57	161,851.20
②廃棄物排出量(kg)	786	302
③水資源投入量（m ³ ）	107	99

7. - 2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標（環境経営レポート対象期間の次年度及び中長期目標）					環境経営計画（環境経営レポート対象期間の次年度）
項目	基準年 （実績）	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	実施事項
1 売り上げ 100万円当 り二酸化 炭素排出 量の削減	2022年度 (338.3kg -CO2/100 万円)	2022年度 に対して 1%減	2022年度 に対して 2%減	2022年度 に対して 3%減	①空調温度適正化・表示
					②照明・PC電源不要時のOFFの推進
					③エアコン清掃の実施
					④エコドライブ推進
					⑤社用車の点検・整備
					⑥電力、ガソリン量の集計
2 売り上げ 100万円当 り廃棄物 排出量の 削減	2022年度 (1.15kg /100万 円)	2022年度 に対して 1%減	2022年度 に対して 2%減	2022年度 に対して 3%減	①分別ルールの徹底
					②廃棄物置場の整備
					③廃棄物排出量の集計
					④裏紙使用ルールの徹底
3 従業員1人 当り水使 用量の削 減	2022年度 (6.69m ³ / 人)	2022年度 に対して 1%減	2022年度 に対して 2%減	2022年度 に対して 3%減	①毎月のメータを確認する（漏水防止）
					②節水表示
					③増量ノズルへの交換
					④トイレの節水
4 化学物質 取扱及び 管理の徹 底	—	現状把握	取組継続	取組継続	①取扱商品（化学物質含有）の調査
					②購入量の把握
					③SDSの入手
					④取扱商品一覧表の作成
5 本業に関 する目標					① 環境負荷の少ない工法の提案および採用
					② 再生材料の活用
					③ 資機材置場近隣への配慮

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

エコアクション21運用を始めて間もないため、当初の中長期目標で次年度も進める。
同じく、環境経営計画も前年度と同じ計画で進める。

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法※	・委託基準(契約書・許可証・有効期限) ・廃棄物管理(看板等)	遵法
フロン排出抑制法	重機空調の簡易点検の実施	遵法
オフロード法	適合証明	遵法
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	排出ガス対策型であることの確認	遵法
消防法(危政令)	消防長(消防署長)に届出	遵法

※審査での指摘を受け是正済み

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

当社に該当する環境関連法規の遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。

また、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21キックオフ以降、従業員の環境負荷低減に対する意識は確実に定着してきております。

今年度は目標値をクリアする事が出来ましたが、受注工事量における現場状況により燃料使用量が大きく左右されてしまう傾向ですので、影響を最小限に抑えるためにも更なる省エネルギーの意識を高め、積極的に環境活動を推進していきたいと思っております。